

01 CHALLENGES

抱えていた課題

津軽広域水道企業団発注の導水管路耐震化二重化事業を実施するにあたり、約7年間にわたる管路DBによる長期事業であることから、工事の円滑な進捗だけでなく、地域が抱える課題の解決に向けた地域貢献活動に取り組みました。社会インフラ整備に共通する課題である「水道・土木における地域人材確保」と、津軽地域水道の根幹となる「重要管路耐震化事業のPR」を通じた「地域住民の水道への理解促進」を課題ととらえ、本広報活動を実施しました。

CHALLENGE ①
地域住民の
水道理解促進

CHALLENGE ②
重要管路
耐震化事業のPR

CHALLENGE ③
水道・土木の
地域人材確保

02 APPROACH

広報活動概要

課題解決に向け、地元の青森県立黒石高等学校の課題研究授業に参画し、水道のPRを目的とした広報活動を共同で実施しました。

黒石高等学校情報デザイン科では、地域の商業活動や産業経済に関する調査研究、商品開発、広告・宣伝に関する研究などを通じ、地域課題に取り組んでいます。リサーチやヒアリング等のフィールドワークを基に、解決に向けた実践と提案を行う授業が展開されています。

本取り組みでは、三年生4名とともに、以下の活動を実施しました。



A 工事周知用ビラの制作、配布

近隣住民への工事周知用ビラについて、黒石高校の生徒が参画しデザインしました。目に留まりやすく、子供の興味を引くデザインとしています。また、「ダム湖ふれあいデー」において高校生が市民へ直接配布し、感想などの生の声を聞く機会を創出しました。



B 事業パンフレットの制作、配布

事業の説明資料としてパンフレットを制作しました。水道を支える「手」と黒石市の特産物で地元らしさを表現し、「黒石市 水の名所」も高校生が取材し掲載しています。本パンフレットは、2025年度広島水道展（栗本鐵工所ブース）でも配布しました。

03 IMPACT

広報活動の狙い

津軽地域の根幹となる重要水道管路の耐震化事業のPRを通じて、施工場所である黒石市の市民の方々をはじめ津軽地域の皆様の水道事業への理解促進につながるよう、高校生の自由な発想とデザイン力を発揮してもらいました。

併せて、水道事業の意義・地域貢献性を小・中学生、高校生に知ってもらい、地域で活躍する水道・土木人材が「地域を支える憧れの存在」となるよう活動しました。

▼インタビューの様子(黒石高校での協働ワーク)



04 PR POINTS

広報活動の成果

工事周知用ビラは、「地元高校生が制作した」ことにより、黒石市内の関係各所で好意的に受け入れられました。また、近隣住民への説明時の話題づくりにもつながり、水道管路工事への理解と協力の促進に大きく寄与しました。

事業パンフレットについても、「温かみのある表紙で好感が持てる」と他事業体から評価をいただきました。さらにポスターは、黒石市教育委員会の協力のもと、地元中学校や市立図書館など、学生の目に触れるさまざまな場所に掲示され、水道の魅力を若い世代へ発信する取り組みとして高く評価されています。

本取り組みは、青森県「高校生による青森建設バズプロジェクト」に採用され、青森県知事への報告も行いました。

KURIMOTO

クリモト管路DBは 地域貢献活動にも チャレンジ!!

▶ 高校生と共に水道をPR ◀

C 水道の魅力発信ポスターの制作、配布

水道・土木分野の人材確保促進を目的にポスターを制作しました。青森市水道部および地元土木企業である丸勘建設(株)様へインタビューを実施し、仕事の役割や魅力を表現しています。ターゲットは中学生とし、水道事業で働く女性が手を差し伸べるデザインとしました。



▼青森県知事報告会



▼黒石市立図書館

